



大谷総業(株)[松山市]
三島 智弥さん(職人歴14年)
みしま ともふみ



工事現場の仕事の魅力

現場の花形 足場とび

に迫ります!



仕事内容は?

足場とびとは

高い場所で作業する職人が、安全に工事ができるように足場を組み立てたり、作業が終わると解体したりします。



私は、現場で足場の架設(組立解体)を行う「足場とび」の仕事をしています。その架設に加えて、今回の現場では支保工(橋げたの鉄筋コンクリートが完全に固まり、強度が出るまで支える柱)の架設も担当しています。これらの架設は高所作業なので危険と隣り合わせではありますが、高所では必ず命綱となるハーネス(安全ベルト)を装着し、安全第二で作業に臨んでいます。

仕事の魅力は?

足場とびは、現場の花形といわれています。工事が終われば解体するので、形として残りませんが、現場には欠かせないものです。工事の最初から最後まで現場全体に携わり、縁の下の力持ちとして現場を支える仕事です。自分たちが組んだ足場で職人さんが安全に作業をしている姿を見ると「よかつたな」とホッとすると共に、やりがいを感じます。また、とび職にしか見られない景色も魅力です。建設する構造物より高い足場を架設するので、完成前にいち早くその高さからの景色を見ることが出来ます。

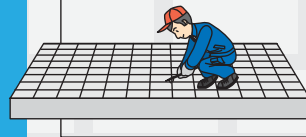


見えない部分を支える 鉄筋工

仕事内容は?

鉄筋工とは

コンクリート構造物の骨組みとなる鉄筋を加工し、組み立てる仕事をしています。



皆さんが普段から通行したり、利用したりする橋やスーパー、病院マンションなどコンクリートの構造物は、補強として内部に鉄筋を入れています。というのも、コンクリートは押す力には強いですが、引つ張る力には弱いのです。鉄筋はその逆で引つ張る力に強いので、力を補い合つことで強度を高めることができます。今回の工事では、高架橋の橋脚や橋げたの鉄筋を担当しています。図面をもとに使用する鉄筋を選び、工場で加工をして現場に運び、その鉄筋を専用の針金で結束し、組み立てていきます。

心がけていることは?

「早くて綺麗で楽」をモットーとしています。いかにスピーディーに丁寧な、そして体への負担を少なくできるか、考えて



ワクワクしています。



(有)広藤鉄筋[松山市]
大井 昭司さん(職人歴23年)
おおい しょうじ